

付録 インターネットの主な出来事 2024

新製品・新サービス・新技術

<p>2024</p> <p>01</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「Meta Quest 2」が3万9600円に値下げ(*9) ■ChromeでサードパーティーCookieをブロックするテストを開始(*12) ■Windowsパソコンに「Copilot」キー導入へ、約30年ぶりの大幅変更(*4) ■X、企業向け認証バッジに月3万円の「ベーシック」プラン追加(*9) ■ソニー・ホンダモビリティがマイクロソフトと連携、生成AI「Azure OpenAI Service」の活用で対話型パーソナルエージェントを開発(*12) ■Wi-Fi Alliance、「Wi-Fi CERTIFIED 7」を発表(*4) ■「DAZN」が2月14日に値上げへ、月額3700円から4200円へ(*4) ■「GPT Store」スタート、ChatGPTで作ったアプリを公開できる(*9) ■マイクロソフト、月額20ドルの「Copilot Pro」の提供開始、WordなどがCopilot対応に(*9) ■Googleの新機能「かこって検索」が利用可能に、どんなアプリからでもすぐ検索(*4) ■Chromeに生成AI活用の新機能が追加(*4) ■「ahamo光10ギガ」の提供開始、3月1日から(*4)
<p>02</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■グーグルのAI「Bard」が日本語含む全言語で「Gemini Pro」に対応、英語で画像生成も可能に(*4) ■「Apple Vision Pro」発売、600以上の“空間”アプリも登場(*9) ■メタ、InstagramやFacebookへのAI画像投稿にAIラベルを表示(*9) ■毎日新聞、「Apple Vision Pro」向けの英文ニュースアプリを提供(*11) ■グーグルのAI「Bard」が「Gemini」に改称、新サービス「Gemini Advanced」とスマホアプリも提供(*1) ■グーグル、次世代AIモデル「Gemini 1.5」を発表(*1) ■PDFソフト「Adobe Acrobat」にも生成AIを搭載(*11) ■Stability AIが「Stable Diffusion 3」を発表、画像内でのアルファベット表記が可能に(*9) ■NTT、IOWN技術で郊外型データセンターを活用したリアルタイムAI分析を省電力で実現する技術を開発(*1) ■Copilotの新機能「ノートブック」は最大1万8000字のプロンプトに対応(*42)
<p>03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■Copilot in Windowsの3月更新でプラグインなどの新機能を追加、「フォト」に“消しゴムマジック”的機能も(*11) ■グーグルと提携のアンソロピック、強力な生成AI「Claude 3」を発表(*9) ■ChatGPTが音声読み上げ可能に(*42) ■X、タイムライン上で「いいね」やりポストの数を非表示に(*4) ■金沢ー東京間をIOWNで結んだリモート音楽ライブを実施(*4) ■Stability AI、回転しても形を保つ3Dを生成する「Stable Video 3D」を発表(*9) ■楽天、日本語に最適化したLLM「Rakuten AI 7B」を公開(*9) ■YouTube、生成AIフェイクなど合成・改変コンテンツはラベルで明示を求める(*15) ■NTTが開発したLLM「tsuzumi」、NTTコミュニケーションズから商用生成AIサービスとして提供開始(*1) ■アドビの画像生成AI「Firefly」に画像を使って構図やレイアウトを指示できる機能搭載(*2)
<p>04</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■イーロン・マスク氏、“GPT-4レベル”の「Grok-1.5」を公表、Xの有料プランに搭載へ(*19) ■Stability AI、3分までの楽曲を生成できる「Stable Audio 2.0」を公開(*9) ■ChatGPTの有料版がDALL-E作成画像の“編集”に対応(*9) ■クラウドフレア、CDNエッジで生成AIを実行できる「Workers AI」を正式リリース(*11) ■InstagramやFacebookへの「AI」ラベル表示が5月開始(*9) ■「Meta AI」の搭載開始、InstagramやFacebookでAI検索や画像生成が可能に(*9) ■グーグル、年内のサードパーティーCookie廃止を延期(*9)

<p>05</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■アンソロピック、生成AI「Claude」の公式iOSアプリを配信、「Team」プランも提供開始(*15) ■AWS、生成AIアシスタント「Amazon Q」、開発支援「Q Developer」、アプリ自動構築「Q Apps」の提供開始(*8) ■X、話題のニュースをAI(Grok)で要約する「Stories」の提供開始(*9) ■スパコン「富岳」開発のAIが完成、報道陣に公開(*25) ■Google、生成AI「Gemini 1.5 Pro」の新機能と廉価版「Gemini 1.5 Flash」を発表(*4) ■Google、動画撮影中に検索できる新機能「Ask with Video」を発表(*4) ■Google、Google フォトのAI新機能「Ask Photos」を発表(*4) ■Google、テキストから動画を生成するAI「Veo」を発表(*4) ■パソコン向けChromeに生成AI「Gemini Nano」を搭載、翻訳や要約をオンデバイスで実現(*4) ■Apple Watchの「命を守る新機能」が日本で解禁、心房細動履歴が5月22日から確認可能に(*12) ■Google、「AI Overview」の上下に広告を表示させるテストを米国で開始へ(*11) ■LINE ヤフー、「知恵袋」のAI回答機能にClaude 3を追加(*28)
<p>06</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■マイクロソフト、「Copilot+ PC」を発表(*11) ■楽天、2次流通可能な「NFT チケット」を提供開始(*9) ■Googleの生成AIサービス「NotebookLM」が日本でも一般公開、調査と制作を助けるAIパートナー(*4) ■「Apple Vision Pro」、日本で6月28日に発売(*4) ■iPhone向け「iOS 18」発表、アップルのAI「Apple Intelligence」やアプリアイコンのカスタマイズ機能などを追加(*4) ■「日経空間版」が6月28日リリース、立体的な新UIを搭載したApple Vision Pro用ニュースアプリ(*11) ■サイバーエージェント、独自の日本語LLMに“視覚”を付与した75億パラメーターの「VLM」を公開(*1) ■「Copilot+ PC」が発売開始(*9) ■デジタル庁、スマホで本人確認できる「デジタル認証アプリ」をリリース(*4) ■サイバーエージェントのマルチモーダルAI開発、AWS上で日本文化を学習(*16) ■Amazon オーディオブック「Audible」の聴き放題対象が20万作品突破(*9) ■KDDI傘下のELYZAの新日本語LLM、GPT-4を超える性能を達成(*4)
<p>07</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■NICTとKDDI、大規模言語モデルに関する共同研究を開始(*1) ■Googleが新AI「Gemma 2」の提供開始、研究者や開発者向けのオープンモデル(*4) ■商用利用可能な日本語LLM「CyberAgentLM3」が一般公開(*10) ■U-NEXT、サッカー・プレミアリーグを全試合独占配信へ(*4) ■パリ五輪の民放ネット配信はTVer一本化、“ほぼ全競技”を配信(*9) ■メタ、オープンかつ無料でGPT-4oを超える「Llama 3.1」公開(*9) ■OpenAI、軽量・安価な新モデル「GTP-4o mini」発表、マルチモーダル対応(*9) ■アップル、「Vision Pro」向けに没入型の映画やドキュメンタリーを配信(*4) ■ChatGPTが“人のように”応答、「高度な音声モード」の提供を一部ユーザーから開始(*9) ■メタ、Llama 3.1ベースの「AI Studio」を米国で提供開始(*11) ■OpenAI、「SearchGPT」でAI検索サービスに参入(*9)
<p>08</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■Google、ウェブ検索の「AIによる概要 (AI Overviews)」を日本などでも提供開始(*1) ■Google、有料版Geminiでオリジナルチャットボット作成機能「Gem」を提供、日本語にも対応(*11) ■IOWN、日台間3000kmで17msの超低遅延通信を実現(*9)

09	<ul style="list-style-type: none"> ■ NTT、800kmで115Tbpsの長距離大容量伝送を実現(*1) ■ NTTなど9社がデータセンター間接続の新サービス発表、IOWN技術を活用(*16) ■ メルカリ、出品の手間をAIが省く、商品説明や価格を自動入力する機能を追加(*11) ■ Apple Intelligenceの提供は10月開始、日本は2025年に(*9) ■ OpenAI、じっくり考える賢い新AIモデル「o1」を公開(*9) ■ アップル、睡眠時無呼吸検知機能に対応した「watchOS 11」を公開(*9) ■ グーグル、検索や広告で画像の出所証明技術対応へ(*9) ■ 東京都、AIを活用したマッチングシステム「TOKYO縁結び」を提供開始(*1) ■ メタ、ARグラス「Orion」を発表(*4) ■ メタ、画像推論に対応したLLM「Llama 3.2」を発表(*9) ■ グーグルの「NotebookLM」、YouTube動画の概要生成も可能に(*11)
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ Copilotと自然な音声会話が可能に(*2) ■ グーグル、大規模言語モデル「日本語版 Gemma 2 2B」を公開(*9) ■ OpenAI、アンソロピックのArtifactsのような「Canvas」の提供開始(*11) ■ スマホでAIと会話できる「Gemini Live」が40以上の言語に対応へ(*4) ■ メタ、音のある動画を生成できるAIモデル「Movie Gen」を発表(*12) ■ “AI野沢雅子”や“AI銀河万丈”を提供へ、声優事務所の青二プロダクションが音声AIベンチャーと提携(*11) ■ ソフトバンクのHAPS向け大型無人航空機「Sunglider」、成層圏飛行に成功(*7) ■ オープンソースLLMの日本語能力を高めた「Llama 3.1 Swallow」を公開(*23) ■ アドビ、Creative Cloudの新機能を発表、不要なものの削除や生成拡張、動画生成など(*9) ■ アドビ、動画生成AI「Firefly Video Model」の提供開始(*9) ■ 音声でAIと会話する「Gemini Live」の対応言語が40に拡大、日本語にも対応(*11) ■ Spotify、「ミュージックビデオ」β版を日本でも提供(*11) ■ グーグル、生成AI検索「AI Overviews」を世界展開(*9) ■ アップル、生成AI「Apple Intelligence」の提供を米国で開始(*9) ■ 楽天モバイル、AIチャット「Rakuten Link AI」を提供開始(*9)
11	<ul style="list-style-type: none"> ■ OpenAI、生成AIを活用した検索エンジン「ChatGPT Search」を公開(*1) ■ Xの“ブロック貫通”導入が始まる、ブロックした相手も公開投稿を見られるように(*11) ■ DeepL、リアルタイム音声翻訳「DeepL Voice」を発表(*9) ■ ChatGPT、Windowsアプリを全ユーザーに公開(*9) ■ 「Gemini」アプリのiOS版を公開(*9) ■ アマゾン・ドット・コム、20ドル以下の商品に限定した低価格ストア「Amazon Haul」をオープン(*1) ■ NTT、最大800Gbpsの通信サービス「All-Photonics Connect by IOWN」の提供開始(*9) ■ GoogleドキュメントでAI画像の生成が可能に、Geminiの「Imagine 3」で(*11) ■ GPT-4oがアップデート、ライティングとファイル処理能力が向上(*9) ■ Perplexityにショッピング機能搭載、写真から商品を検索・購入(*9) ■ Teamsに音声同時通訳機能が搭載、Microsoft 365 Copilotの新機能として(*11) ■ 生成AI「Claude」がGoogleドキュメントをサポート(*9) ■ Threadsに「AIで要約」機能が登場、日付や投稿者で検索できる機能改善も(*35)

12

- 40周年を迎える「一太郎」、最新版は音声／画像からの文字起こしが可能に(*2)
- ATOKに“変換強度”を学習する新エンジンを搭載、ユーザーの入力傾向に応じた変換がより高精度に(*2)
- Google Workspaceで生成AI「Gemini」アプリが利用可能に(*4)
- グーグル、最新動画生成モデル「Veo」の提供開始、Imagen 3も(*9)
- アマゾン・ドット・コム、新たな基盤モデル「Amazon Nova」を発表(*9)
- IOWN、東京ー大阪間600kmで7.5msのリアルタイムデータ同期に成功(*9)
- OpenAI、月3万円の「ChatGPT Pro」プラン発表、深く考える「o1」の利用が無制限(*9)
- パソコン画面の内容について対話できる「Copilot Vision」、米国でプレビュー開始(*9)
- Androidの自動字幕で「周りの音」「ため息」なども表現可能に(*12)
- XのAI「Grok」、無料ユーザーでも利用可能に(*2)
- OpenAI、動画生成AI「Sora」を提供開始、ChatGPT有料版ユーザー向け(*12)
- 「Apple Intelligence」でChatGPTが使えるように、iPhone・iPad・MacでSiriから直接アクセス(*11)
- グーグル、AIエージェント搭載のメガネ型デバイスを発表、Gemini 2.0を採用(*33)
- グーグル、「Gemini 2.0」を公開(*9)
- YouTubeに自動吹き替え機能が登場、英語→日本語にも対応(*2)
- MIXI、招待制のSNS「mixi2」を開始(*2)
- 楽天、LLM「Rakuten AI 2.0」と同社初のSLM「2.0 mini」を公開(*9)
- グーグル、新しい動画生成モデル「Veo 2」を発表(*42)
- グーグル、多様な情報ソースを基に意図をくんで回答するAIエージェント「Google Agentspace」を発表(*8)

買収・IPO・合併・企業

2024

01

- SpaceX、スマホとの直接通信が可能な衛星の初打ち上げに成功(*1)
- ニコン、AFP通信と共同でフェイク画像対策、電子透かしで真贋証明(*9)
- メタ、InstagramとFacebookで10代の保護を強化、厳格な設定の自動適用など(*12)
- グーグル、Pixelなどを手がけるハードウェア部門や音声アシスタント部門で大幅な人員整理を実施(*35)
- SpaceX、「Starlink」衛星の300回目の打ち上げに成功(*4)
- OpenAI、ChatGPTのポリシーから「軍事・戦争目的への使用禁止」という文言を削除(*35)
- 東京発のスタートアップ「Sakana AI」が45億円の資金を調達、NTTが日本での筆頭株主に(*9)
- グーグル、広告営業チームの従業員数百人の解雇を発表(*35)
- OpenAI、選挙でのAI悪用防止のために利用規約を改訂へ(*12)
- アマゾン・ドット・コム、動画配信や映画制作で数百人リストラ、コスト削減・広告導入・追加料金で収益改善を図る(*38)
- グーグル、EUのDMA（デジタル市場法）対策で欧州のChromeやAndroidを修正(*11)
- AWS、2027年までに2兆円超を日本市場へ投資、クラウドサービス強化(*4)
- NTT東日本、IOWN技術を活用したユースケースの創出に向け「IOWN Lab」を開設(*41)
- 読売新聞、ウェブ記事の生成AIへの学習利用を禁止に、利用規約を改定(*11)
- アップルのMacが40周年、「誕生ですべてを変えた」とティム・クックCEO(*11)
- アップル、EU向けに代替アプリストア容認などDMA対応措置を発表(*1)
- X、児童性的搾取対策のための拠点を設置し100人体制で対応することを表明(*35)
- 経産省、光電融合「IOWN」の3プロジェクトに450億円支援、NTT中心にキオクシアら参加(*12)
- IOWNは光でコンピューター刷新、NTTが光電融合デバイス研究を強化(*9)

02	<ul style="list-style-type: none"> ■ Universal Music Group、TikTok との契約を打ち切り、「正当な対価なく AI 代替」(*9) ■ マイクロソフト、生成 AI 活用に向けて報道機関と提携(*2) ■ YouTube、ディープフェイク対策など生成 AI の取り組みを強化(*9) ■ グーグル、来歴記録の「C2PA」に参加、透明性担保の動きが加速(*9) ■ アップル、EV 開発計画ついに断念、生成 AI にリソースをシフト(*31)
03	<ul style="list-style-type: none"> ■ MIXI、mixi20 周年の思い出を振り返る「mixi 年表」の提供開始(*9) ■ アップル、iPhone 向けサードパーティーアプリストアに対するセキュリティ計画を公表(*12) ■ アマゾン・ドット・コム、アンソロピックに約 4200 億円を追加出資(*12)
04	<ul style="list-style-type: none"> ■ グーグル、数十億件の利用者閲覧データを削除へ、集団訴訟で和解(*29) ■ OpenAI、イーロン・マスク氏に反論、「“Open” は誰もが AI の恩恵にあずかるべきという意味」(*9) ■ note と弁護士ドットコム、誹謗中傷を防ぐ共同プロジェクトを発足(*9) ■ マイクロソフト、日本の AI 投資に 4400 億円、東京に研究拠点を(*29) ■ OpenAI、サム・アルトマン CEO の取締役復帰を発表、解任騒動の調査結果も明らかに(*12) ■ グーグル、日本との海底ケーブルに 1500 億円を投資、デジタルコネクティビティを拡張(*12) ■ OpenAI、東京オフィス設立を発表(*4) ■ YouTube、広告ブロックアプリへの規制を強化(*4) ■ ソフトバンク、「AI 倫理委員会」を設立、社内外の意見を取り入れた AI ガバナンス構築を目指す(*4)
05	<ul style="list-style-type: none"> ■ LINE ヤフー、情報漏えい問題で経営体制見直し、取締役 2 人が退任(*25) ■ OpenAI チーフサイエンティストのイリヤ・サツキパー氏が退職へ(*30) ■ メタ、Threads に独自のファクトチェック機能を導入(*33) ■ X、ドメインを twitter.com から x.com に切り替え、「全てのコアが X に」(*9) ■ OpenAI の AI 危険対策チームトップが「限界に達し」退職、「安全確保が後回しになっている」(*11) ■ OpenAI、ニュースと提携、WSJ などのコンテンツ表示が可能に(*24) ■ ドワンゴ、ニコニコが広告ブロックツールで年間 1 億円超の損失発生、ツールの無効化を呼びかけ(*11) ■ OpenAI を「限界点に達した」と退職したヤン・ライケ氏、競合アンソロピックで安全チーム結成へ(*11) ■ OpenAI、理事会に提言する安全・セキュリティ委員会を設置(*16) ■ OpenAI、老舗メディア「The Atlantic」および「The Verge」の親会社の Vox Media とライセンス契約(*11) ■ AI が生成か、メタが偽コンテンツを特定(*22) ■ 「めっちゃコミック」をブラックストーンが買収へ、帝人が売却(*28)
06	<ul style="list-style-type: none"> ■ スキマバイトの「メルカリ ハロ」、開始 3 か月弱で登録者数 500 万人(*9) ■ X、成人向けおよび暴力描写を含むコンテンツを認めるポリシーを新たに公開(*1) ■ SpaceX、スマホと直接通信できる「Starlink」衛星を打ち上げ(*4) ■ 生成 AI 検索でグーグルに対抗、ソフトバンクが米国の AI 企業と提携(*29) ■ OpenAI 退職のイリヤ・サツキパー氏ら、“安全な超知能”を目指す AI 企業「Safe Superintelligence」を立ち上げ(*11) ■ OpenAI、「タイム」とコンテンツ契約(*22)
07	<ul style="list-style-type: none"> ■ グーグル、AI データセンターブームで CO2 排出量が 5 年で 48 % 増と発表(*13) ■ OpenAI とロスアラモス国立研究所が提携、マルチモーダル AI の悪用可能性を評価(*11) ■ ネットフリックス、第 2 四半期の新規会員が 800 万人で市場予想を上回る(*22) ■ グーグル、サードパーティー Cookie の廃止方針を転換へ(*4) ■ AI 検索の Perplexity、パブリッシャー向けの収益還元を発表(*9)

08	<ul style="list-style-type: none"> ■「サードパーティーCookieを廃止しない」と手のひらを返したGoogleにW3Cが遺憾(*2) ■インテル、2期連続の最終赤字で約1万5000人の人員削減を発表(*11) ■Google、検索におけるディープフェイク対策として削除リクエストを受けた処理の強化とランキングシステムの改善を発表(*1) ■OpenAI共同創業者のジョン・シュルマン氏、退職してアンソロピックへ(*12) ■OpenAI、「The New Yorker」「Vogue」の出版社と提携、検索に記事を利用(*28) ■欧州のAI規制は「支離滅裂」、メタのマーク・ザッカーバーグCEOらが声明(*9) ■アップルとNVIDIA、OpenAIへの投資を交渉中(*28) ■OpenAIとアンソロピック、最新モデルの事前共有でAI安全研究所と合意(*9) ■CNETを、PC Magazine、Mashable、Lifehackerなどを運営するZiff Davisが買収へ(*14)
09	<ul style="list-style-type: none"> ■ソフトバンク、企業や政府向けの衛星通信サービス「Eutelsat OneWeb」の提供を12月に開始すると発表(*4) ■メタ、広告も対象の第三者ファクトチェックを日本で開始(*9) ■Sakana AIに3メガバンクやNEC・富士通・KDDIらが出資、300億円規模に(*9) ■自律型のAI実現へ向け「慶應AIセンター」が設立、KDDIやソフトバンクが参画(*4) ■OpenAIから最高技術責任者（CTO）に続き最高研究責任者（CRO）と研究担当副社長も退職(*11)
10	<ul style="list-style-type: none"> ■OpenAIの共同創業者がまた一人、アンソロピック入り(*11) ■OpenAI、9600億円を調達、評価額は23兆円でソニーを抜く(*29) ■OpenAI、ハーストとも提携、ChatGPTで「エスクァイア」などのコンテンツが表示可能に(*11) ■マイクロソフトのAI担当バイスプレジデント、OpenAIに移籍へ(*24) ■アマゾン・ドット・コム、次世代型原子炉「SMR」に投資、電力需要増に対応(*9) ■KDDI、スマホと「Starlink」衛星の直接通信の実証に成功、衛星経由でSMSを送受信(*4)
11	<ul style="list-style-type: none"> ■OpenAI、カリフォルニア州司法当局と協議、営利組織目指し(*24) ■メタのOrion責任者がOpenAI入り、ジョニー・アイブ氏のプロジェクトに参加か(*11) ■OpenAIの主任安全研究者を務めるリリアン・ウェン氏が退職(*35) ■ソフトバンクグループ、OpenAIに5億ドル出資(*4) ■Googleニュースの幹部が辞任、メディアとの連携役(*34) ■NVIDIAとソフトバンク、Blackwell採用の国内最速AIスパコンを構築(*2) ■NVIDIA、日本のAI強化でソフトバンクと協業(*9) ■大手YouTuber事務所「UUUM」、上場廃止へ(*39) ■スカパーJSAT、“圏外のない社会”へ本格始動、衛星活用の「NTN」実現へ(*9) ■マイクロソフト、東京に新研究拠点を設立(*9) ■ソニーグループ、KADOKAWA買収に向けた協議入り(*22) ■OpenAI、ウェブブラウザの開発検討、Googleに対抗(*22) ■アマゾン・ドット・コム、AI新興企業アンソロピックに6200億円を追加出資(*29) ■さくらインターネット、生成AIプラットフォームサービスの開発に着手、NEC製LLM「cotomi」も提供(*15) ■ソフトバンクグループ、OpenAIに15億ドルを追加投資へ、OpenAIは社員にTOBでの株式売却を許可(*11) ■アマゾン・ドット・コム、アンソロピックに40億ドル追加出資、AI開発競争で主導権狙う(*19)

12	<ul style="list-style-type: none"> ■「DMMビットコイン」廃業へ、5月に482億円相当が不正流出、口座などはSBI VCトレードに移管(*11) ■アマゾン・ドット・コム、AIスパコン開発計画を発表、自社製半導体「TrAlnium」搭載(*33) ■OpenAI、防衛新興企業と提携、「空中の脅威」への対応能力向上で(*24) ■シャープとKDDI、堺工場跡地のAIデータセンター構築で合意(*22) ■アマゾン・ドット・コム、ドナルド・トランプ次期大統領の就任に向けて1.5億円寄付を計画(*30) ■ソフトバンクグループ、米国に15兆円投資へ、孫正義会長兼社長とドナルド・トランプ次期大統領が会談(*23) ■PFN、三菱商事、IIJの3社、AI向けクラウドサービスの提供に向けた合弁会社を設立(*3)
----	--

法制度・行政・事件・社会

2024 01	<ul style="list-style-type: none"> ■OpenAI、ニュースメディアにライセンス料を提案(*36) ■米証券取引委員会の委員長、ビットコインETF承認を声明(*18) ■アップル対エピックの独禁法訴訟、米最高裁が両社の控訴を却下、ほぼエピックの敗北(*11) ■世界の筆頭リスクは「虚偽情報」、世界経済フォーラムが発表、AI台頭で危険増大か(*11) ■「食べログ」が逆転勝訴、アルゴリズム変更巡り、高裁判決(*28) ■経産省、フロッピーディスクの使用指定を廃止(*9) ■AIには原子力が必要、OpenAIのCEOがダボス会議で提言(*36) ■Xでのテイラー・スウィフト偽AI画像拡散について米連邦政府が懸念表明(*11) ■米国が「政府主導」でAI研究を促進、ハイテク大手19社と連携で(*33)
02	<ul style="list-style-type: none"> ■OpenAIとマイクロソフト、AI悪用のロシアや中国のアカウントを停止(*9) ■グーグルやマイクロソフト、アマゾン・ドット・コムなど20社、選挙へのAI利用対策で連携(*9) ■自民党、スマホアプリの「サイドローディング」を義務付ける法案を検討、課金システムも自由化(*4) ■文化庁、「AIと著作権に関する考え方について(素案)」のパブリックコメント結果発表、意見提出数は2万4938件(*11)
03	<ul style="list-style-type: none"> ■イーロン・マスク氏、OpenAIを提訴、設立理念の放棄を非難(*19) ■スマホへのマイナカード機能搭載を可能とする改正法案が閣議決定(*4) ■総務省がLINEヤフーに行政指導、親会社のNAVERへ「対策求めづらい関係」を指摘(*4) ■紅海の海底ケーブル損傷でインターネット寸断(*30) ■中国でアニメ海賊版サイト「B9GOOD」運営者らに有罪判決、日本の働きかけによる海外運営者への刑事罰は初(*1) ■5G向けに新周波数帯「4.9GHz帯」割り当てへ、技術条件が定まる(*4) ■米下院、TikTokの国内事業を売却しなければ利用を禁止する法案を可決(*25) ■グーグル、メディアの記事をAI「Gemini」のトレーニングに使用した件で約410億円の罰金を競争当局から科される(*35) ■マイナポータルの新正式版がスタート(*9)

04

- 警察庁にサイバー特捜部発足、警察庁長官「国際捜査でリードを」(*27)
- 200人以上のミュージシャン、AIによる権利侵害の停止を求める公開書簡を発表(*11)
- メタ、著名人になりました詐欺広告に対する取り組みを説明(*11)
- 「改正NTT法」が国会で成立、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルが「強い懸念」を表明(*11)
- LINEヤフーに2度目の行政指導へ、「NAVERとのネットワーク完全分離が2年以上先」など見直しの展望が明らかではないと判断(*4)
- 文化庁の「AIと著作権に関する考え方」、個人からのパブコメを新たに公開、今回も1000ページ超(*11)
- 生成AIの学習に用いた資料の公開を義務付ける「生成AI著作権開示法」案が提出(*35)
- Googleマップの不当なクチコミ投稿で権利侵害、医師らがグーグルを提訴(*25)
- なりすまし広告で被害、責任求めメタの日本法人を提訴へ(*25)
- 海賊版サイト「漫画村」関係者に17億円の損害賠償判決、出版3社の共同訴訟で(*1)
- 生成AIの児童ポルノ問題、メタやOpenAI、グーグルら10社が共通対策へ(*9)
- TikTok禁止法案が米上院で可決(*2)
- 米国でネット中立性規則が復活、平等なアクセス提供を義務付け(*22)

05

- マイクロソフトとOpenAI、著作権侵害で新聞社8社から提訴(*35)
- TikTok、米連邦政府を「憲法違反」で提訴、数百万人の言論弾圧(*11)
- 堀江貴文氏かたる偽広告で投資詐欺、男性が2.2億円余の被害(*25)
- 総務相、LINEヤフーに引き続き資本関係見直しを要求、情報漏えいで(*25)
- 前沢友作氏、メタに1円の賠償を求めて提訴、詐欺広告巡り(*23)
- 日本アドバタイザーズ協会、社会問題化するデジタルメディア上の詐欺広告に対する緊急提言を発表(*46)
- NHKのネット配信を「必須業務」に格上げ、放送法改正案が成立(*29)
- 消費者庁、消費者向けに最新情報を盛り込んだ「AI活用ハンドブック～生成AI編～」を公表(*5)
- EU、AI法を承認、リスクに応じて規制(*9)
- AIを利用した創作物の発明者は「人間」、政府が知的財産計画で見解明記へ(*26)
- 「パスワードは定期変更の必要なし」、総務省が国民向けサイトで正式見解(*1)
- 個人情報を守るOpenAI・マイクロソフト集団訴訟、米地裁が訴えを退ける(*22)
- アップル、「iPhoneでマイナンバーカード」を来春後半に開始と発表(*4)
- DMM、482億円相当のビットコインが不正流出(*9)
- 「クチコミ」投稿者に賠償命令、眼科医院長「評判落とされた」(*25)
- マイナンバーカード全機能がスマホ搭載可能に、改正法が成立(*28)
- デジタル庁が「テキスト生成AI活用におけるリスクへの対策ガイドブック(α版)」を発表(*44)
- まぎらわしい“ボタン風広告”から意図しないウェブサイトに誘導されサブスクを契約してしまうトラブルに、国民生活センターが注意喚起(*1)

06

- DMMのビットコイン流出、全量保証に向け550億円の資金調達(*9)
- メディア30社、なりすまし詐欺広告対策で協力(*9)
- 米司法省と米連邦取引委員会、マイクロソフト・OpenAI・NVIDIAに対する独占禁止法調査を開始(*11)
- ニコニコの復旧見直し立たず、16日までの番組中止／延期を発表(*1)
- 政府、なりすまし広告対策でSNS事業者に審査強化要請へ(*28)
- KADOKAWA、サイバー攻撃の影響を発表、経理・出版事業を優先対応(*9)
- インターネットアーカイブ、出版社勝訴の影響で50万冊の書籍を貸し出しリストから削除(*35)
- 音楽生成AI相手に初訴訟、ソニーなど大手3社が著作権侵害訴訟(*22)
- メタ日本法人は請求棄却求める、Facebook偽広告を巡る損害訴訟(*27)
- KADOKAWA、ランサムウェアで情報漏えいを確認、ドワンゴ従業員情報など(*9)

<p>07</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■防衛省、国産クラウド導入、さくらインターネットと7.5億円規模の契約(*11) ■EU、メタもIT規制法違反と暫定見解(*23) ■ハッカーがKADOKAWAの犯行声明削除(*23) ■政府、フロッピーディスク縛りの撤廃を達成、次はファクスなどの見直しへ(*35) ■経産省、「コンテンツ制作のための生成AI活用ガイドブック」を公表(*45) ■防衛省、「防衛省AI活用推進基本方針」「防衛省サイバー人材総合戦略」を策定(*1) ■総務省、「令和6年版情報通信白書」を公表(*43) ■有識者会議、SNSの偽・誤情報についてプラットフォーム側の対応制度化を提言へ(*29) ■大学入学共通テストで「スマートグラス利用不可」を明記(*9) ■防衛白書、日本として防衛力の強化を進めていく必要性を強調(*25) ■日本新聞協会、検索連動の生成AIに「著作権侵害の可能性」とする声明を発表(*28) ■マイクロソフト、19日の「Windowsブルスク化」は世界で850万台のパソコンに影響と推測(*4) ■フランスで一部通信設備にケーブル切断の破壊行為(*22) ■米司法省、TikTokが機密顧客データを中国拠点のサーバーに保管していたと主張(*13) ■メタ、ユーザーの生体認証データの無断収集を巡る訴訟で14億ドルの和解金支払いへ(*11)
<p>08</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■AI法規制の議論開始、岸田文雄首相「安全性確保が必要」(*28) ■ドワンゴ、「ニコニコ動画」アプリのサービスを再開(*12) ■OpenAI、大統領選挙を含む複数トピックに関する偽情報をChatGPTで生成するアカウントのブロックを発表(*35) ■文化庁、「AIと著作権に関するチェックリスト&ガイダンス」を公開(*48) ■TelegramのCEO逮捕、Telegramは「不当」と声明(*9) ■KADOKAWAと交渉決裂と、ロシア系ハッカーが主張(*23) ■ブラジルの日本アニメ海賊版16サイトが閉鎖、大規模取り締まり「アニメ作戦」の第2弾(*1) ■ネット上の偽情報対策に20億円、総務省が来年度予算の概算要求に盛り込む(*28)
<p>09</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■欧州評議会のAI安全条約に米・英・EUが署名(*11) ■オーストラリアで子どものSNS使用禁止法案提出へ、14歳未満を軸(*23) ■「マッチングアプリの本人確認にマイナカード活用を」、デジタル庁が事業者に働きかけ、ロマンス詐欺対策で(*11)
<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■AI市場での競争上の懸念に「厳正な法執行を」、G7共同宣言(*28) ■ノーベル物理学賞をAIの中核「機械学習」の基礎に関わった2人が受賞(*25) ■SNS偽広告訴訟でメタが「真実性確認の義務はない」と主張(*25) ■「Wayback Machine」のインターネットアーカイブから3100万人のユーザーデータが漏えい(*11) ■有名声優たちが生成AIの悪用に抗議、山寺宏一、梶裕貴、中尾隆聖ら26人が参加(*39) ■ダウ・ジョーンズ、AI検索スタートアップのPerplexityを著作権侵害で提訴(*28) ■「闇バイト」募集の大部分はXなどのSNS、「即日即金」「ホワイト案件」といったキーワードに注意、警察庁が特徴を発表(*1) ■KADOKAWAグループの公式サイトが復活、サイバー攻撃から4か月半ぶり(*11) ■映画・アニメのストーリーを無断で文字起こしして記事を掲載する“文字抜き出しサイト”の運営者が逮捕(*1)

11

- 総務省、「『安心・安全なメタバースの実現に関する研究会』報告書2024」を公表(*48)
- アマゾン・ドット・コムが原発利用に米当局が待った、AI電力調達戦略見直しを迫る(*24)
- アップル、EU制裁金に直面へ、デジタル市場法違反で(*22)
- 報道機関によるOpenAIへの著作権訴訟が棄却(*35)
- データを社会課題解決に活用、政府が検討会設置、基本方針策定へ(*25)
- NTT法廃止見送りへ、総務省報告書は廃止に慎重内容、自民大敗で潮目変化(*11)
- ドナルド・トランプ次期大統領、イーロン・マスク氏を「政府効率化省」トップに(*9)
- EU、メタに約1310億円の罰金を科す、「Facebook Marketplace」の反競争的慣行で(*12)
- バルト海の海底ケーブル2本が切断、「故意の損害の疑い」と、ドイツとフィンランドが表明(*11)
- グーグルに「Chrome」売却命令、米司法省が裁判所に請求へ、ブルームバーグが報じる(*11)
- 米司法省、グーグルにChrome売却を要求、「行き過ぎた介入」とグーグル(*9)
- アマゾンジャパンに公取委が立ち入り検査と複数報道、出品者に値下げを強いたたか、独禁法違反の疑い(*11)
- 豪下院、16歳未満のソーシャルメディア禁止法案可決、上院審議へ(*22)
- 総務省、データセンターの地方分散に120億円、石破茂首相の重点政策を反映(*27)

12

- OpenAIの営利企業転換は「違法」、イーロン・マスク氏が阻止を求めて提訴(*24)
- 韓国戒厳軍が国会に突入、SNSでリアルタイム中継、衝突阻む効果も(*27)
- LINEアルバム画像誤表示問題、影響範囲は13.5万件(*9)
- EUがNVIDIAを調査、ソフトウェア企業買収で抱き合わせ販売持ちかけか(*22)
- TikTok売却が禁止かの米法律に合憲の判決、最高裁に上訴の可能性(*11)
- 広告審査の人員拡大、経産省がメタに要請、詐欺広告巡り(*28)
- 芸能人の偽の性的画像がメルカリなどで大量販売、AIを使ったディープフェイクを悪用か(*25)
- ドナルド・トランプ次期大統領がアップルCEOと会談、関係強化か(*23)
- メタ、OpenAIの営利組織への転換阻止を求める書簡をカリフォルニア州司法長官に送付(*11)
- 「イーロン・マスク氏の要求、裁判所は却下を」、営利企業化差し止めを巡りOpenAIが求める(*22)
- 総務省、SNS各社に闇バイト対策を要請、投稿削除や本人確認強化(*9)
- EU、TikTokの調査を開始、選挙介入巡る疑いで(*22)
- DMMビットコイン流出、「北朝鮮のサイバー攻撃か」、米分析会社(*25)
- アップル、EUのDMA提案に「メタにアクセスを許すのはプライバシー上のリスクがある」と反論(*11)
- 公正取引委員会、グーグルに排除措置命令へ、自社アプリ優遇など独占禁止法違反疑いで、米巨大IT企業へは初(*25)
- グーグル、司法省のChrome売却要求に反論、独自是正案を提出(*11)
- TikTok禁止法が迫る中でドナルド・トランプ次期大統領が「TikTokをしばらく存続させたい」と発言(*35)
- イタリア、OpenAIに罰金、「ChatGPTはデータ保護規則違反」(*22)
- アップル、グーグル独禁法訴訟に介入の申し立て、「司法省の要請は消費者に不利益」(*11)
- mixi2に早くも有名人の「なりすまし」が乱立、河野太郎氏が注意喚起(*37)

その他

<p>2024</p> <p>01</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■能登半島地震で「偽情報がネットで拡散」、総務省が注意を呼び掛け(*4) ■ソフトバンク、ドローンで携帯電話の電波を中継、能登半島地震で運用開始(*4) ■NTTドコモとKDDI、「船上基地局」の運用開始、能登半島地震を受けて(*4) ■KDDIとSpaceX、能登半島地震の避難所に衛星ブロードバンド「Starlink」350台を無償提供(*9) ■ソフトバンク、能登半島地震の被災地に「Starlink Business」を無償提供(*9) ■NTTドコモ、被災地に「公衆ケータイ」1520台を提供、無料で使えるスマホなど(*9) ■災害で停電しても「基地局にEV」、NTTドコモなどが実験開始(*4) ■ソフトバンク、3Gサービス終了を延期、能登半島地震の影響を踏まえ(*4) ■アップルがサムスン電子を抑えついにスマホ市場シェア1位に躍り出る(*35) ■TVer再生数の3割はテレビ視聴、12月は再生4億回に迫る(*9) ■生成AI活用の未来を議論、「Generative AI Japan」設立(*9) ■世界スマホ市場、2023年第4四半期は8.5%増、通期は3.2%減、2024年に回復へ(*12) ■ソフトバンク回線利用のMVNO各社も3G終了延期を発表(*4) ■ITUが「うるう秒調整をしない」決議、コンピューターを狂わす制度が実質廃止へ(*16) ■JASRACなど音楽9団体、「AIに関する音楽団体協議会」を立ち上げ(*9) ■グローバルなデータセンターの電力消費量が4年で2倍以上に急増(*11)
<p>02</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■役に立つ「コミュニティノート」を紹介するXアカウント、開設半年でフォロワー5万人を突破(*1) ■「YouTube Music」「YouTube Premium」の総ユーザー数が1億人を突破(*4) ■国立国会図書館(NDL)、国立情報学研究所(NII)における大規模言語モデル構築に協力すると発表(*48) ■「+メッセージ」利用者数が4000万人突破、スタンプイラスト募集コンテストも(*4) ■携帯電話出荷数が3000万台を下回る、2007年以降で過去最少(*4) ■ニューヨーク・タイムズ、デジタル売り上げが初めて10億ドル超え(*29) ■世界タブレット端末市場、2023年第4四半期は17.4%減、通期は20.5%減(*12) ■ソフトバンクとNVIDIA、AI新技術実用化の業界団体設立へ(*25) ■政府、AIの安全性を評価する「AIセーフティ・インスティテュート」設立(*9) ■MVNO、停滞期を抜け市場シェア15%が目前に(*4) ■「2023年日本の広告費」は新型コロナ5類移行が追い風となり過去最高の7兆3167億円(*47)
<p>03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■2023年第4四半期の国内スマホシェアはグーグルが前年から527%成長、IDCは「アップルに次ぐベンダーになる可能性がある」と予測(*11) ■NTT東西、「INS ネット」の新規申込受け付けを2024年8月で終了、2028年をもってサービス提供終了(*1) ■2023年の国内スマホ出荷台数は11.0 ■世界パソコン市場、2024年の出荷は2.0%増、AI対応パソコンや企業の更新サイクル到来で続く増加(*12) ■ソフトバンク、3Gサービスを4月15日に終了、石川県のユーザーは7月31日まで延期(*4) ■MVNOの利用率は「OCN モバイル ONE」が1位、総合満足度・NPSは共に「mineo」がトップ(*5) ■NTTドコモ、「FOMA」「iモード」のサービス終了に関するお知らせをウェブページに掲載(*40) ■世界AR/VRヘッドセット市場、2023年の出荷は23.5 ■生成AIの利用経験者が3か月で2倍に、半数以上が「ほぼ使わない」など課題も(*42) ■仕事でのChatGPTやAIの使用にZ世代の36%が罪悪感(*33)

04	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年のキャッシュレス決済比率は39.3 ■ TVerの3月の再生数が4億5000万回と過去最高に、ドラマ「不適切にもほどがある！」などが貢献(*11) ■ 二次元コード決済のシェアは「PayPay」、総合満足度は「楽天ペイ」、二次元コード決済のメイン利用は上位4サービスで93.2%を占める(*21) ■ スマホ所有率は97%、10代女性は約2割が2台持ちに(*11) ■ 世界スマホ出荷台数は前年同期比7.8%増と、3四半期連続増加も、iPhoneは首位陥落、9.6%減(*38)
05	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソーシャルメディア規制が「必要」は85 ■ スマホの総出荷台数が過去最少に(*4) ■ ネットフリックスの広告付きプランが4000万ユーザー達成、1年で8倍(*24) ■ JASRACの伊澤一雅理事長、生成AIを巡り著作権者に「学習可否の権利を」(*16) ■ ニュースの情報収集、10~20代では「SNS」がトップ(*5)
06	<ul style="list-style-type: none"> ■ メディア総接触時間、20代男性が500分越え、若年女性はスマホが5割以上を占める(*17) ■ JETROが2024年版「世界貿易投資報告」で、海外のEC小売市場規模は前年比10%増の5兆8211億ドルと発表(*6) ■ 「LINE Pay」、2025年4月までにサービス終了へ(*4)
07	<ul style="list-style-type: none"> ■ AI対応のパソコン、法人向けは2030年度に620万台に(*28) ■ メタのThreadsが1周年、アクティブアカウント数は月間1億7500万を突破(*4)
08	<ul style="list-style-type: none"> ■ バリ五輪選手へのSNS中傷で「法的措置を検討」、JOCが緊急声明(*11) ■ マカフィー、五輪など注目が集まるイベントに乗じた、有名人をかたる詐欺の拡大を警告(*1) ■ メタのThreads、公開後約1年でユーザー2億人突破(*11) ■ AIの安全性をAIで保証、「AIの父」が参加する新プロジェクトが始動(*20) ■ Z世代の7割弱が「YouTubeをほぼ毎日見る」、ミレニアル世代とは約20ポイントの差(*5) ■ 日本新聞協会、ネット上の偽情報対策案に意見書を提出、「ネット事業者の責務強調を」(*23)
09	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマホの国内出荷シェア、グーグルが急減、シャオミは大幅増に(*4) ■ メルカリの累計出品数が40億点突破(*4) ■ 経産省、「令和5年度電子商取引に関する市場調査」の結果を発表(*45) ■ 5G契約数が1億件に迫る、楽天モバイルのシェアは3
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 25周年を迎えた「CEATEC 2024」が開幕(*1) ■ 経団連、コンテンツ産業へ警鐘、「クールジャパン戦略を繰り返してはならない」(*39) ■ 経団連、産業データ基盤の整備を提言、官民協議に着手(*28) ■ 世界のスマホ市場は5四半期連続で拡大、シェア1位はサムスン電子(*4) ■ NTT、KDDI、楽天モバイルなど5社が6G実現に向けてタッグ、NICT基金から200億円を拠出(*27) ■ 楽天モバイルの契約数が800万回線を突破(*4) ■ YouTube国内月間視聴者数は7370万人、「猫ミーム」は16億回再生(*28) ■ Xのブロック機能変更でBlueskyの人気上昇、2日間で120万人が登録(*12) ■ 2023年の国内データセンターサービス市場は2兆7361億円、2028年には5兆円規模に(*3) ■ マーク・ザッカーバーグCEO、「Meta AI」のMAUは5億人、「Threads」のMAUは2億7500万人と発表(*11)

11	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIガバナンス協会が一般社団法人化、普及や渉外・提言活動の拡充を目指す(*16) ■ 「AIで声の無断利用はやめて」、声優などの業界団体が声明(*25) ■ 楽天モバイル、契約数が812万件に(*4) ■ 2024年度上期のスマホ出荷台数は回復、アップルが1位、シャープが2位に(*11) ■ 国内の生成AIサービス市場は年平均84.4%増で成長、2028年には8000億円規模に(*8) ■ TVerのアプリダウンロード数が累計8000万を突破(*4) ■ メタのThreads、11月だけでユーザーが3500万人増、大統領選でX離れが加速か(*39) ■ 2024年の世界スマホ市場、iPhoneの成長は鈍化、IDC調べ(*11)
12	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットフリックス、日本の会員1000万人突破、国内ドラマ好調(*22) ■ 日経電子版、有料会員100万人超、法人・教育に広がる(*28) ■ 2023年度の国内メタバース市場規模は前年比35.3%増、AIがコンテンツ開発を加速—矢野経済研究所(*8) ■ ブラジルの日本アニメ海賊版15サイトが閉鎖、全部で月間平均約795万アクセスの「海外発海外向け」サイト(*1) ■ ビットコインが最高値更新、2021年以来最長の週間上昇記録(*24) ■ マーク・ザッカーバーグCEO、Threadsには1億人以上のデイリーアクティブユーザーがいると発表(*35) ■ 日本新聞協会、生成AIと著作権保護について意見を発表、「新たな法整備を」(*28) ■ MVNO回線契約数が微増、IoT需要が追い風に(*4) ■ mixi2の会員数が120万人超え(*9) ■ ロシア政府、一部地域でインターネットへのアクセスを遮断するテストを実施(*32)

Source : (*1)INTERNET Watch (*2)PC Watch (*3)クラウド Watch (*4)ケータイ Watch (*5)Web担当者 Forum (*6)DIGITAL X (*7)ドローンジャーナル (*8)IT Leaders (*9)Impress Watch (*10)窓の杜 (*11)ITmedia (*12)CNET Japan (*13)データセンターカフェ (*14)Publickey (*15)テクノエッジ (*16)日経クロステック (*17)MarkeZine (*18)CoinDesk Japan (*19)BRIDGE (*20)MITテクノロジーレビュー (*21)MMD研究所 (*22)ロイター (*23)共同通信 (*24)ブルームバーグ (*25)NHK (*26)読売新聞 (*27)産経新聞 (*28)日本経済新聞 (*29)朝日新聞 (*30)CNN (*31)Bloomberg (*32)Business Insider (*33)Forbes JAPAN (*34)ダイヤモンド・オンライン (*35)GIGAZINE (*36)ギズモード・ジャパン (*37)J-CASTニュース (*38)JBpress (*39)KAI-YOU (*40)NTTドコモ (*41)NTT東日本 (*42)ZDNET Japan (*43)総務省 (*44)デジタル庁 (*45)経済産業省 (*46)日本アドバタイゼーズ協会 (*47)ウェブ電通報 (*48)カレントアウェアネス



1996, 1997, 1998, 1999, 2000...

[インターネット白書ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dおよび株式会社インプレスが1996年～2025年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<https://IWParcives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&Dおよび株式会社インプレスと著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

インプレス・サステナブルラボ

✉ iwp-info@impress.co.jp